

# Art Photo Site

<http://www.artphoto-site.com>

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan  
TEL: 03-3714-0552 FAX: 03-3714-2571 E-mail: info@artphoto-site.com

報道各位

平成19年7月吉日

## 「Portraits of ZOE」 トミオ・セイケ写真展

－ 蘇った伝説のポートレート第2章 －

2007年 9月14日(金)～ 11月3日(土)

1:00PM～7:00PM / 休廊 日・月曜日 / 入場無料  
\*9月22日(土)はトークイベント開催のため15:30からとなります。

### アート・フォト・サイト・ギャラリー

〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-20-29 TEL 03-3714-0552  
JR目黒駅からバス、目黒消防署下車徒歩3分 / 東急東横線学芸大学下車徒歩15分

現在、欧米で活躍する日本を代表するアーティスト、トミオ・セイケ。80年代に制作された彼の代表作が「ポートレート・オブ・ゾイ」シリーズです。魅力的な米国女性ゾイの20歳から25歳までの成長と変化を東京、ロンドン、パリ、ニューヨークで撮影したシリーズは世界中の写真コレクターに賞賛されました。撮影終了後約20年が経過した2007年に、セイケは当時のネガを総合的に見直し、未発表作品20点をセレクトしました。本展はこの蘇った伝説のポートレートを世界初展示するものです！

このたびアート・フォト・サイト・ギャラリーは、欧米のギャラリーで活躍中のトミオ・セイケ写真展を開催します。80年代に制作された彼の代表作が「ポートレート・オブ・ゾイ」シリーズです。魅力的なポーランド系米国人女性ゾイの20歳から25歳までの成長と変化を東京、ロンドン、パリ、ニューヨークで撮影したものです。ライカカメラとノクチルックスで撮影された本作は80年～90年代にかけて世界中のギャラリーで展示され、写真コレクターやカメラファンを魅了しました。ヒューストン美術館などに收藏されるとともに、アンディー・サマーズ(ザ・ポリス)、ラルフ・ローレンなどがコレクションしていることでも知られています。

被写体の変化を明らかにするには撮影する写真家のスタンスやアプローチが一定であることが必要です。短期間なら可能ですが、約5年にも渡って同じスタンスをモデルと保つことは容易ではありません。どうしても個人的な感情が反映され、距離感が変化する場合が多いのです。まして撮影場所は東京、ロンドン、パリ、ニューヨークです。外国人コレクターはセイケのこのストイックな姿勢に感銘し、現在に蘇った写真による浮世絵美人画だと評する人もいます。この伝説のポートレート撮影終了後約20年が経過した2007年、セイケ本人が当時のネガを総合的に見直して新たに作品をセレクトしました。本展はこの未発表作品20点を世界で初めて展示するものです。時間経過により今度は作家自身の視点が変わり「ポートレート・オブ・ゾイ」シリーズが新解釈されたのです。21世紀に蘇った伝説のポートレート第2章といえるでしょう。

近年ゾイ・シリーズの人气が再び高まっています。ドイツで写真展が開催され、ヴィンテージ・プリントがオークションで取引されています。撮影時のヘア・メイク、衣装、ロケーションはすべてセイケとゾイの話し合いで決まったそうです。実はこのアプローチはファッション写真と非常に似ており、結果として本シリーズは80年代の気分と雰囲気の色濃く反映された作品に仕上がっています。少し前だったような80年代もすでに4半世紀が経過し、いまや懐かしむ対象になってきたのです。最近の人气再燃は80年代回顧ブームと関係があると思います。

# Art Photo Site

<http://www.artphoto-site.com>

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan  
TEL: 03-3714-0552 FAX: 03-3714-2571 E-mail: info@artphoto-site.com

(...2/2)

グローバル市場で高い評価を受けているセイケの作品は高額です。銀塩写真の人気イメージは50万円を超えます。本展では、写真コレクションにまだ馴染みの薄い日本人コレクター向けに価格が銀塩よりも手頃なデジタル作品をエディションの一部に設定しました(予定価格 5万円~)。エディション数22枚のうち、10枚をデジタル作品、12枚を銀塩作品とする予定です。アート写真の歴史の浅い日本の初心者にも優れた作品の入手機会を提供したいという作家の特別な配慮です。銀塩写真のマスターのセイケがデジタル作品に取り組むのは今回が最初で最後になるかもしれません。2007年に蘇った80年代の伝説のポートレート展は見所満載です。

## ○写真展特別イベント

トミオ・セイケ・トーク・イベント「ライカとゾイ・シリーズ(仮称)」

9月22日(土) 午後2時~3時  
先着25名様予定 入場無料

ゾイ・シリーズ全作をライカで撮影したトミオ・セイケ。  
本人のカメラ、レンズ、プリントへのこだわりから、作品制作の秘話などをお話いただきます。

## トミオ・セイケ・プロフィール

トミオ・セイケ(清家富夫)は1943年東京生まれ。欧米の主要ギャラリーのハミルトンズ(ロンドン)、ハワード・グリーンバーグ(ニューヨーク)と契約し写真展を定期的に開催している数少ない日本人作家です。

会社員を3年経験後、1970年に日本写真学園を卒業しています。アシスタントを経験後、1975年からフリーランス写真家、その後イギリスに渡り1987年以降は東京とブライトンに居を構えています。現在は写真展、写真集を通しての作家活動のみを行い、商業写真は行っていません。

1982~1987年に取り組んだ「ZOE」シリーズで作家として注目されます。ロンドンのフォトグラファーズ・ギャラリーで初公開されて以降、ハミルトンズ(ロンドン)、ウェストン・ギャラリー(カーメル)、ツァイト・フォトサロン(日本橋)、コウジ・オグラ・ギャラリー(名古屋)、ギャラリーf5.6(ミュンヘン)など世界中で個展が開催されています。

その後、「Paris」1992年、「Waterscapes」2003年、「Glynde Forge」2006年、を相次いで発表し作家の地位を確立させます。欧米写真の伝統を踏まえた上に日本文化のエッセンスも感じさせる優れた作家性、卓越した撮影テクニック、自らがプリントする高い完成度の銀塩写真で世界中のコレクターを魅了し続けています。またほとんどの作品がライカで撮影されていることからカメラファンからも熱烈な支持を得ています。

作品は、ヒューストン美術館、サンタバーバラ美術館、ヨーロッパ写真美術館、フランス国立図書館、ラザール・ナショナルバンク、エルトン・ジョン・コレクションなどに収蔵されています。

以上

写真展の情報、画像はアート・フォト・サイト([http://www.artphoto-site.com/inf\\_press.html](http://www.artphoto-site.com/inf_press.html))でご覧になれます。

・お問い合わせ先 アート・フォト・サイト・ギャラリー TEL 03-3714-0552